

# 産婦人科専門医研修プログラム

## 1 はじめに

産婦人科には周産期、腫瘍、生殖医療、女性ヘルスケアの4つの大きな柱があります。専門医試験には4分野から均等に出題されます。一方県内の研修施設を見渡すと単独施設でこれら4分野をカバーしている施設は非常に少ないのが現状です。産婦人科医を目指す方ならどなたにも充実した産婦人科研修を行っていただくため、県内の研修病院の連携による本プログラムを作成いたしました。このプログラムの参加施設は県立静岡がんセンター、県立総合病院、県立こども病院など静岡県内の主な病院の22施設です。浜松医科大学がコーディネーターとなり研修内容、研修方法を調整いたします。どの施設も症例が豊富で指導者も充実していますので産婦人科専門医試験までに産婦人科4分野をくまなく研修し、必要な手術症例数、分娩数などクリアできるように設定されています。最大の特徴は本プログラムを終了し専門医取得後も希望があれば継続的に指導が受けられることです。その結果、サブスペシャリティの専門医取得、学位の取得まで責任を持って指導する所存です。産婦人科医を目指す方は是非このプログラムに参加し、各自の夢を実現して頂きたいと熱望いたします。



プログラムリーダー 浜松医科大学医学部産婦人科 金山尚裕

## 2 目的

初期研修医を終えた医師を対象とし、日本産科婦人科学会専門医の取得を目指すとともに周産期、腫瘍、生殖医学などの専門性の高い研修を行いそれぞれの分野のサブスペシャリティ専門医を取得できるよう知識と技術を身につけます。また、研修病院群に常勤医、非常勤医として勤務しながら大学院へ進学し学位を取得することも可能です。静岡県西部、中部、東部地区の中核となる病院で研修することで広い交友関係を築き、地域医療に貢献します。

## 3 目標

日本産科婦人科学会専門医取得について

日本産科婦人科学会認定専門医は、日本産科婦人科学会会員となり日本産科婦人科学会認定施設で卒業臨床研修5年終了後（初期研修中は非会員でも資格あり）に受験資格が得られます。医師免許取得後3年目の9月までに学会に入会している必要があります。本プログラムに参加している研修病院の研修で日本産科婦人科学会専門医取得が可能です。産婦人科専門医取得後これらの施設でサブスペシャリティの専門医（周産期専門医、婦人腫瘍専門医、生殖専門医、婦人科内視鏡専門医等）の研修も受けられます。

日本産科婦人科学会認定専門医の取得に必要な経験症例や学術活動は本プログラムの研修病院で指導を行っています。

### 【必要経験症例】

- a. 分娩症例 150 例、ただし以下を含む（4）については2）3）との重複可

- 1) 経膈分娩；立ち会い医として 100 例以上
- 2) 帝王切開；執刀医として 30 例以上
- 3) 帝王切開；助手として 20 例以上
- 4) 前置胎盤症例(あるいは常位胎盤早期剥離症例)の帝王切開術執刀医あるいは助手として 5 例以上
- b. 子宮内容除去術、あるいは子宮内膜全面搔爬を伴う手術執刀 10 例以上 (稽留流産を含む)
- c. 膈式手術執刀 10 例以上 (子宮頸部円錐切除術、子宮頸管縫縮術を含む)
- d. 子宮付属器摘出術 (または卵巣嚢腫摘出術) 執刀 10 例以上 (開腹、腹腔鏡下を問わない)
- e. 単純子宮全摘出術執刀 10 例以上 (開腹手術 5 例以上を含む)
- f. 浸潤癌 (子宮頸癌、体癌、卵巣癌、外陰癌) 手術 (助手として) 5 例以上
- g. 腹腔鏡下手術 (執刀あるいは助手として) 15 例以上 (上記 d、e と重複可)
- h. 不妊症治療チーム一員として不妊症の原因検索 (問診、基礎体温表判定、内分泌検査オーダー、子宮卵管造影、あるいは子宮鏡等)、あるいは治療 (排卵誘発剤の処方、子宮形成術、卵巣ドリリング等) に携わった (担当医、あるいは助手として) 経験症例 5 例以上
- i. 生殖補助医療における採卵または胚移植に術者・助手として携わるか、あるいは見学者として参加した症例 5 例以上
- j. 思春期や更年期以降女性の愁訴 (主に腫瘍以外の問題に関して) に対して、診断や治療に携わった経験症例 5 例以上 (担当医あるいは助手として)

#### 【学術活動】

- a. 日本産科婦人科学会学術講演会などの産婦人科関連の学会・研究会で筆頭者として 1 回以上発表していること。
- b. 筆頭著者として論文 1 編以上発表していること。

## 4 特徴

- (1) 全県下にある中核病院が協力して行う研修プログラムである
- (2) プログラムにおける研修は原則 3 年とするが、研修終了後各研修施設で専門性を高めることや、大学院進学で研究をすることも可能である。
- (3) 産婦人科関連学会はもちろんのこと全国の同世代の医師と懇親を深められる closed な勉強会生殖医学フォーラム (国内の 8 大学での研究会)、周産期医療研究会 (産科 DIC スコアを作成した浜松医科大学を含む 3 大学での研究会) などで全国の仲間と勉強する機会が得られる。
- (4) 地域の基幹病院で研修することにより正常分娩、良性腫瘍のような症例は数多く経験ができ、開業医などからの悪性腫瘍、重症搬送例を診療することができる。
- (5) NICU 研修をすることができる。
- (6) 臨床研究や基礎研究を行える機会がある。

## 5 研修カリキュラム

専門医取得のためには各研修プログラムの基幹病院で 6 か月以上の研修が必要となります (本プログラムの基幹病院は浜松医科大学)。原則として 1 年目は浜松医科大学から研修を開始し、2 つ以上の病院で研修をします (配偶者が転勤となる場合は希望なども考慮します)。研修病院の選定

は各研修病院のバランス、研修内容を評価した上、希望も踏まえてプログラム運営委員会で行われます。なるべく全県にまたがり、研修できるようにします。また新しい研修プログラムから専門医取得のために1か月以上の地域研修が必要となりました（地域研修：東京 23 区、政令指定都市以外。静岡県では浜松市、静岡市以外の病院）。浜松市や静岡市での研修が続く場合は、状況や希望に応じて研修先を相談できます。

(1) 産婦人科オールラウンドコース

2年目（卒後4年目）からは研修連携病院群の中から1～2つの病院をローテーションします。日本産科婦人科学会専門医を取得し、産婦人科一般を幅広く診療できることを目標にします。手術症例数の多い病院で勤務することが多くなります。産婦人科専門医取得後もこれらの病院で勤務することができます。

(2) サブスペシャリティコース

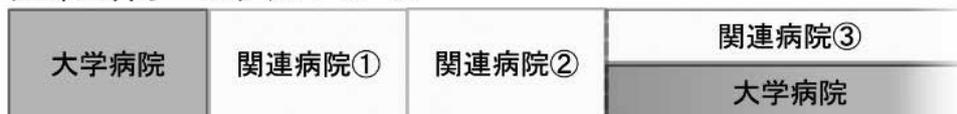
専門研修1年目は大学病院、2年目は研修関連病院での勤務となり、オールラウンドコースと同様に産婦人科一般の診療を目的とします。専門医取得に必要な症例のほとんどを2年間で経験できます。専門研修3年目からは浜松医科大学の他にも、周産期専門医取得を目指す場合は静岡県立こども病院で、婦人科腫瘍専門医取得を目指す場合は静岡県立静岡がんセンターで研修を行うことも可能です。

(3) 大学院コース

産婦人科専門医取得には産婦人科として3年間の臨床経験が必要となります。大学院に入学する場合は卒後6年目からとなります。大学院コースでは社会人大学院生として研修病院群に勤務しながら研究を行い、学位論文を作成し、医学博士の取得を目指します。

## 6 専門研修プログラム基本スケジュール

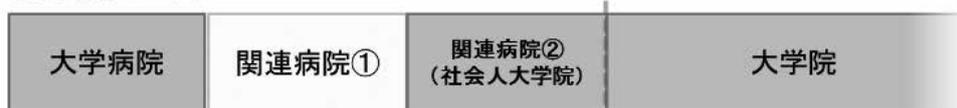
▶産婦人科オールラウンドコース



▶産婦人科サブスペシャリティコース



▶大学院コース



## 7 連携研修施設群

浜松医療センター

聖隷浜松病院

聖隷三方原病院

遠州病院

磐田市立総合病院

中東遠総合医療センター

菊川市立総合病院

市立島田市民病院

藤枝市立総合病院

静岡県立総合病院

静岡厚生病院

静岡市立静岡病院

静岡赤十字病院

俵 IVF クリニック

静岡県立こども病院

静岡済生会病院

富士市立中央病院

富士宮市立病院

静岡がんセンター

聖隷沼津病院

沼津市立病院

伊東市民病院

※俵 IVF クリニックは平成 28 年 11 月より新しく連携研修施設として登録